

# オルガン・チェンバロ講習会 2026

## 入門コース／初級コース

# 受講生募集



## 「古楽」という言葉をご存じでしょうか？

18世紀より前の、いわゆる中世・ルネサンスからバロックにかけてのヨーロッパ音楽を「古楽」と呼んでいます。「速く無駄なく」が要求される忙しい現代とは違い、何かをするためには、ときに不便で時間がかった時代…。オルガンやチェンバロは、そんな時代からやってきた楽器です。人の呼吸に似た、“ゆらぎ”と“あたたかさ”を持つ楽器と一緒に、豊かな気持ちを取り戻せる音楽に触れてみませんか？

第1回	4月17日（金）～ 19日（日）
2026年 第2回	7月31日（金）～ 8月2日（日）
第3回	10月16日（金）～ 18日（日）
2027年 第4回	2月19日（金）～ 21日（日） ※ 最終日に受講生（初級/上級）発表会を行います。

※ 入門クラスは各回の日曜日に開講します。

※ 講習会を実施しない月には、以下①②の機会を設けます。

- ① フォローアップレッスン：入門コース講師による補助レッスン日。
- ② 受講生練習日：各楽器の自主練習日。

### 講師/講座監修



#### 大塚直哉(宮崎県立芸術劇場オルガン事業アドバイザー)

東京藝術大学大学院チェンバロ専攻を経て、アムステルダム音楽院オルガン科およびチェンバロ科を修了。バッハ・コレギウム・ジャパンのアンサンブルにおける通奏低音奏者としての活動のほか、オルガン、チェンバロ、クラヴィコードのソロ奏者としても日本やヨーロッパなど各地で活発に活動を行っている。現在、東京藝術大学教授、国立音楽大学非常勤講師、宮崎県立芸術劇場オルガン事業アドバイザー。またオルガンやチェンバロ、クラヴィコードなどむかしの鍵盤楽器に初めて触れる人たちのためのワークショップを各地で行っている。「アンサンブル コルディエ」音楽監督。NHK-FM「古楽の楽しみ」案内役として出演中。

# 入門コース



## 入門コースとは？

- パイプオルガンまたはチェンバロに初めて触れる方のための、1年間のコースです。
- グループ形式でレッスンを行い、楽器の仕組みや基本的奏法を学びます。
- 3日間の講習期間中は、初級コースや修了生プログラムを聴講いただけます。  
※レッスンでは原則として、ポジティフ(小)オルガン、1段鍵盤のチェンバロを使用します。

【開講日】各回の日曜日

【第1回:4/19、第2回 8/2、第3回:10/18、第4回:2/21】

【応募資格】鍵盤楽器経験者で、オルガンまたはチェンバロを初めて習う方。

【募集人数】各楽器 10名程度 ※コース途中での楽器変更はできません。

【選考方法】書類審査(審査員:大塚直哉)

【受講料】10,000円／年 (受講決定後に振込方法をご案内します)

※納入後はいかなる理由があっても返金いたしません。

※別途テキスト『クラヴィス』(現代ギター社￥2,970)を購入いただきます。

【申込方法】

(1) Web「受講申込フォーム」より

URL <https://forms.gle/nYoKabTQtAmv9J349>

申込フォーム



(2) 申込書に記入の上、①郵送・FAX・ご持参 または ②メールに添付にて

※申込書は劇場ホームページからもダウンロードできます。

※メールでお申込みされた方には、受付確認の返信を送ります。必ずご確認ください。

【申込期限】2026年2月6日(金)

※審査の詳細については3月上旬にご案内します。

【申込み先】〒880-8557 宮崎県宮崎市船塚3丁目210番地

宮崎県立芸術劇場「パイプオルガン・チェンバロ講習会2026」係

TEL:0985-28-3208 / FAX:0985-20-6670

e-mail:orce@miyazaki-ac.jp

【入門コース講師】



稻森 愛(オルガン担当)

宮崎大学特音課程ピアノ専攻卒業。  
ウィーン国立音楽大学開講  
WienerMusikseminar修了生選抜特別演奏会(ウィーン)や東日本大震災チャリティーコンサート(ドイツ)、ソロリサイタルほか数多く開催する傍ら、コンクール審査員も務めるなど精力的に活動している。宮崎県立芸術劇場主催パイプオルガン・チェンバロ講習会上級コース修了。



花岡 聖子(チェンバロ担当)

宮崎大学特音課程ピアノ専攻卒業。  
ピアノ伴奏をダルトン・ボールド温氏に師事。ニースにおいてスゼー氏の夏期マスタークラスの伴奏を務める。  
現在、ヴァージナルを用いたコンサート、ワークショップを各地で行っている。宮崎県立芸術劇場主催パイプオルガン・チェンバロ講習会上級コース修了。

# 初級コース



## 初級 コースとは？

- オルガンまたはチェンバロを学ぶ、2年間のコースです。  
※J.S.バッハの「三声のシンフォニア」を自力で譜読みできる程度の鍵盤演奏レベルを想定。
- 年4回の講師による個人レッスン(各回30分)を通して、独奏作品のほか、器楽や声楽とのアンサンブル作品に取り組みます。  
※レッスンには、ホールの2段鍵盤付きチェンバロ、大オルガンを使用します。
- 第4回の講習会ではホールで発表会(各年)を行い、2年終了時には、初級修了認定のディプロマを発行します。

**【応募資格】** (1)当講習会「入門コース」を修了、または同等の楽器演奏経験のある方。  
(2)十分な練習時間を確保できる方。

**【募集人数】** 若干名 ※応募者多数の場合は、宮崎県在住者を優先します。

**【選考方法】** 以下の課題曲①・②の両方による実技審査（審査員：大塚直哉）※暗譜は不要です。

オルGAN クラス	① J.S.バッハ：「三声のシンフォニア」から任意の1曲 ② J.S.バッハ：トッカータとフーガニ短調 BWV565 の冒頭から30小節目まで
チェンバロ クラス	① J.S.バッハ：「三声のシンフォニア」から任意の1曲 ② F.クーブラン：「クラヴィサン奏法」からプレリュード第1番 ハ長調

**【実技審査日】** 2026年2月22日(日) ※ 審査の結果は当日通知します。

**【受講料】** 22,000円／年 (受講決定後に振込方法をご案内します)  
※納入後はいかなる理由があっても返金いたしません。  
※別途テキスト『クラヴィス』(現代ギター社￥2,970)を購入いただきます。

**【申込方法】** (1) Web「受講申込フォーム」より  
URL <https://forms.gle/dvbHKK2dt4tjktE88>

(2) 申込書に記入の上、①郵送・ご持参 または ②メールに添付にて  
※申込書は劇場ホームページからもダウンロードできます。  
※メールでお申込みされた方には、受付確認の返信を送ります。必ずご確認ください。

申込フォーム



**【申込期限】** 2026年2月6日(金)  
※実技審査の詳細については受付終了後にご案内します。

**【申込先】** 〒880-8557 宮崎県宮崎市船塚3丁目210番地  
宮崎県立芸術劇場「パイプオルガン・チェンバロ講習会2025」係  
TEL: 0985-28-3208 / FAX: 0985-20-6670  
e-mail: orce@miyazaki-ac.jp

## オルガン・チェンバロ講習会 2026 受講申込書

希望コース	<input type="checkbox"/> 入門コース	<input type="checkbox"/> 初級コース
希望楽器	<input type="checkbox"/> オルガン	<input type="checkbox"/> チェンバロ
氏名	フリガナ -----	年齢 -----
		歳
住所	〒	
連絡先	TEL（携帯）：	
	メールアドレス：	
学校名・学年 職業等		
保護者氏名 ※未成年の場合のみ		
受講歴	※ 当講習会の受講経験がある方は、コース名、楽器、受講年度を記入ください。	
音楽歴  記入欄が足りない場合は 任意様式で提出可	※ 鍵盤楽器等の学習歴、他の講習会等の受講経験について記入ください。	
志望動機  記入欄が足りない場合は 任意様式で提出可	※受講の志望動機やこの講習会で何を学びたいかを記入ください。	
参加不可能な 時間帯等	※講習会期間は全日程空けていただくことを原則としますが、仕事や学校等、やむを得ない都合 がある方は、曜日と時間帯を記入ください。(例：「金曜日は学校のため夕方 6 時まで×」など) ※応募多数の場合は参加不可能な時間の少ない方を優先させていただきます。	